

製品名: CEP41 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08664**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

抗原情報

遺伝子名	CEP41
別名	CEP41; TSGA14; Centrosomal protein of 41 kDa; Cep41; Testis-specific gene A14 protein
遺伝子 ID	95681.0
SwissProt ID	Q9BYV8
免疫原	抗血清はヒト CEP41 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 150-200

背景

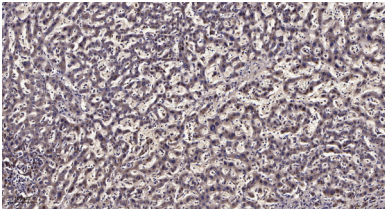
この遺伝子は、中心体および微小管結合タンパク質をコードしており、2つのコイルドコイルドメインと1つのロダネーゼドメインを有すると予測されています。ヒト網膜色素上皮細胞では、このタンパク質は中心小体と繊毛に局在します。この遺伝子の変異は、常

染色体劣性繊毛症および神経疾患であるジュベール症候群 15 と関連付けられています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2012年3月],類似性: 1つのロダネーゼドメインを含みます。組織特異性: アイソフォーム 1 とアイソフォーム 4 は精巣および胎児組織で発現します。、

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト肝癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。